

ほっとクリニック

町立金山診療所だより 88

金山町大字金山548-2 ☎52-2915



新しい内科医長に ^{すず き ゆう だい} 鈴木有^き大^{ゆう}先生！

山形県からの派遣医師の人事異動（平成28年4月1日付け）により、内科医長の高橋利幸先生は山形大学医学部附属病院に転出しました。3年間にわたる町の医療に対するご貢献に感謝し、ますますのご活躍をお祈りします。

後任に、鈴木有^き大^{ゆう}（ゆうだい）先生が内科医長（消化器、循環器系）として着任しました。よろしくお願いいたします。

鈴木先生の略歴 自治医科大学卒業、県立中央病院（研修医H20～21年度、救急科24年度）、最上町立最上病院内科医（22～23年度、26年度）、東京ベイ・浦安市川医療センター総合内科医（25年度）、飯豊町国保診療所長（27年度）

放射線による検査

医療機関には、病気を診断するためにたくさんの方の検査があります。具合が悪い時に、一回で済めば良いのに、何種類もの検査をされる場合があります。検査で具合が悪化するのでは、と感じられた方もおられるのではないのでしょうか。

簡単な検査で異常値・異常画像が見つかった場合、ターゲッ
トを絞り込むための次の検査に移ります。そして、病気を確定するため、更に複雑な検査を行います。一回の検査で確定診断できるような万能な検査はないのか。しかし、実際のところそんな検査は存在しません。万能な検査ほど精度が悪いのです。



放射線の検査でも、一般撮影は万能ですが、他の検査に比べ精度が劣ります。一般撮影で異常画像が見つかった場合、ターゲッ
トを絞り込むため、次の検査を行います。透視検査・CT検査・MRI検査・RI検査などがあります。目的や制限などにより、選択されますが、透視

検査は、主にバリウム等の造影剤等を用いた検査となっており、若干の苦痛を伴うため、最近では、CT検査やMRI検査などに移行する傾向にあります。

CT検査では各元素で形作られた構造を描出し、MRI検査では分子で形作られた形態を描出する検査となります。そのため、画像の形状は一緒でも、その内容は全く違ったものとなります。つまり、CT検査では物質密度の違いを、MRI検査では物質成分の違いを画像にしていることとなります。

また、RI検査では、人体の生理学（元素・物質の代謝）を利用し、画像として描出する検査です。医師たちは、経験とそれぞれの検査の特徴を素に検査を選択し疾患を導き出し、治療を行います。

検査に携わる者として、いつの日か精度の良い万能な検査（装置）が登場し、患者様の苦痛が少しでも軽減されることを望んで止みません。

町立金山診療所

診療放射線係長 柴田 寿彦